

Hitachi Koki

日立工機電動工具用集じん機

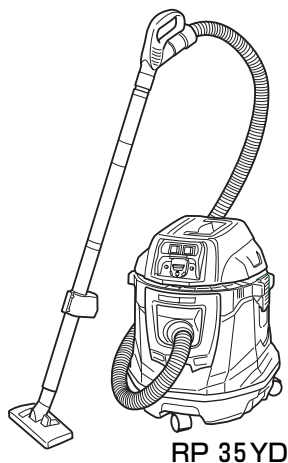
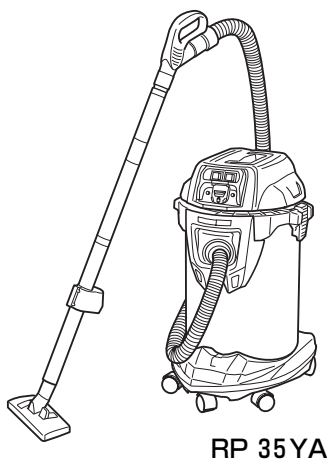
RP 35YA 〔乾式〕

RP 35YB 〔乾湿両用〕

RP 35YD 〔乾式〕

取扱説明書

このたびは日立電動工具用集じん機をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全
にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管して
ご利用ください。




HITACHI


目 次


	ページ
集じん機の安全上のご注意	2
電動工具用集じん機の使用上のご注意	4
各部の名称	6
仕 様	7
標準付属品	8
別売部品	9
用 途	14
作業前の準備	14
ご使用前に	16
使 い 方	17
フロート機構について	31
保守・点検	32
ご修理のときは	34
全国営業拠点	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれの意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。**
 - 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **作業に合った集じん機を使用してください。**
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑥ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- ⑦ **集じん機は、注意深く手入れをしてください。**
 - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ⑧ **次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源をOFFにしてください。**
 - 使用しない、または修理する場合。
 - ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。

 **警 告**

⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ 集じん機の修理は、専門店で依頼してください。

- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

電動工具用集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

- ① **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電のとき、感電の恐れがあります。（詳細は 14 ページの「2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）
- ② **連動コンセントに接続できる電動工具の消費電力は強運転時 100～285 W、弱運転時 100～665 W までです。**
上記を超える消費電力の電動工具を連動コンセントに接続して使用すると、定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。
- ③ **定格 15 A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。**
他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。
- ④ **以下のものは吸込まないでください。**
 - ・金属の研削、切断作業時に発生する火花。
 - ・火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
 - ・引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
 - ・釘、カミソリの刃など鋭利な物。
 - ・木片、金属、石、ひもなど。
 - ・セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
 - ・油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
 - ・水、油などの液体。（RP 35YA、RP 35YD の場合）
火災やけがの原因になります。
- ⑤ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。
- ⑥ **機体やさし込みプラグ、連動コンセントに水や油などをかけたりしないでください。**
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。
- ⑦ **機体の吸込み口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。

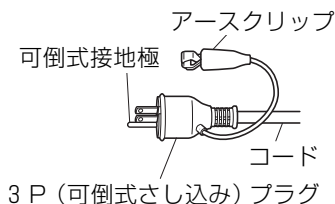
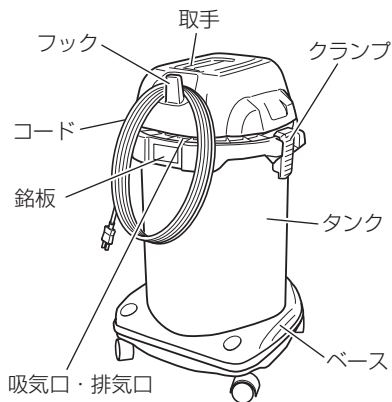
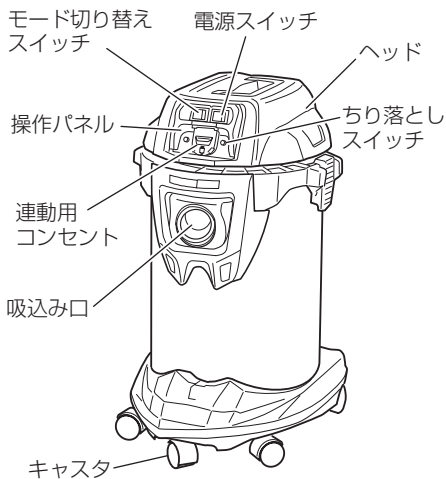


警告

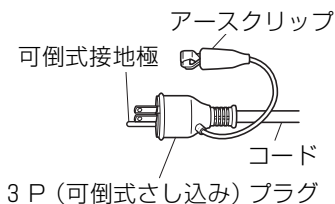
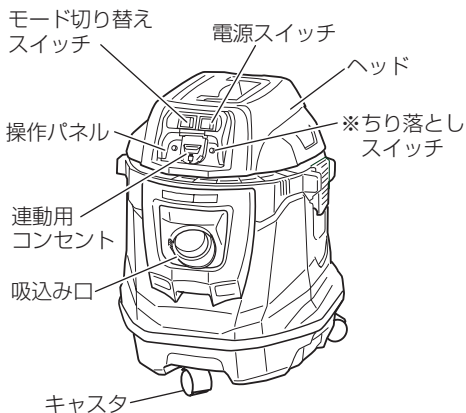
- ⑧ フロートが動作したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。
- ⑨ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
感電や故障の原因になります。
- ⑩ 転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑬ 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。
アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。
- ⑭ この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

RP 35YA



RP 35YB、RP 35YD



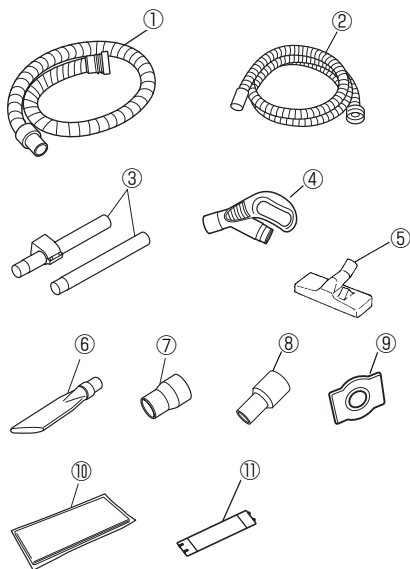
※ちり落としスイッチ：RP 35YDのみ

仕 様

形名 項目	RP 35YA	RP 35YB	RP 35YD
使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V		
モーター	単相直巻整流子モーター		
用途	乾式	乾湿両用	乾式
電流	強 12 A ・ 弱 8 A		
消費電力	強 1140 W ・ 弱 760 W		
連動用コンセント	強100 ～ 285 W ・ 弱100 ～ 665 W (接続できる電動工具の消費電力)		
最大風量	強 3.5 m ³ /min 弱 2.8 m ³ /min		
最大真空度	強 25.5 kPa { 2600 mm水柱} 弱 16.3 kPa { 1660 mm水柱}		
集じん容量	32 L	25 L	
吸水容量	—	22 L	—
ちり落としモーター	直流モーター, 12 V	—	直流モーター, 12 V
フィルタの種類	粉じん用フィルタ	布フィルタ	粉じん用フィルタ
外形寸法	RP 35YA : 奥行 460 × 幅 400 × 高さ 710 mm RP 35YB・RP 35YD: 奥行 435 × 幅 415 × 高さ 545 mm		
質量 ※	11.9 kg	8.1 kg	9.5 kg
コード	アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 5 m		

※：コード、付属品を除く。

標準付属品

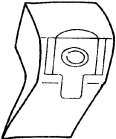
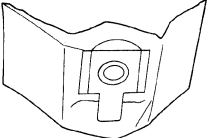

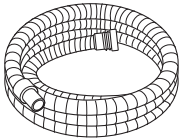
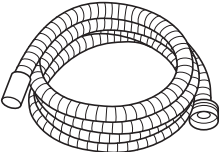



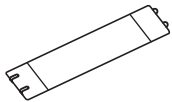

- ① ホース(内径φ 38 ×長さ 2 m)
(一般掃除用) …… 1 本
- ② ホース(内径φ 25 ×長さ 3 m)
(電動工具との接続用) …… 1 本
- ③ 延長管 …… 2 本
- ④ ホース接続ハンドル …… 1 個
- ⑤ 床用吸口 …… 1 個
- ⑥ すき間用吸口 …… 1 個
- ⑦ D25 アダプタ(38 mm用)
(マキタ電動工具との接続用) …… 1 個
- ⑧ D25 アダプタ(26 mm用)
(マキタ電動工具との接続用) …… 1 個
- ⑨ ポリホルダ …… 1 個
- ⑩ ポリ袋
(800 mm × 650 mm)(10 枚入) …… 1 個
- ⑪ ホースバンド(RP 35YDのみ) …… 5 個

別売部品

..... (別売部品は生産を打ち切る場合があります)
ありますので、ご了承ください。)

1. フィルタ・ホース・吸口など

部 品 名	用 途
紙フィルタ (5枚入り) 	紙フィルタごと捨てることで、清潔にゴミ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時は、布フィルタまたは粉じん用フィルタを併用してください。
紙フィルタ (5枚入り) 	
ナイロンフィルタ 	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。
ホース (内径φ 38 × 長さ 5 m) 	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。
ホース (内径φ 25 × 長さ 5 m) 	内径が細く 5 m と長いため、電動工具と接続して使用するとき、使用します。
ホースカバーセット 	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引掛かりにくくします。

部 品 名		用 途				
ホースバンド(ゴム製) 		ホース(内径φ25)と電動工具のコードを束ねて物に引掛かりにくくします。(5個入り)				
ホースバンド 	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">呼 径</td> <td>φ 38</td> </tr> <tr> <td>φ 60</td> </tr> <tr> <td>φ 75</td> </tr> </table>	呼 径	φ 38	φ 60	φ 75	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。
呼 径	φ 38					
	φ 60					
	φ 75					

2 . 集じんアダプタ・ジョイント

⚠ 警 告

- 表中の適用形名で下記の消費電力を超える電動工具は、連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。下記の消費電力を超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。










この機体を強運転する場合…電動工具の消費電力 100 ~ 285 Wまで

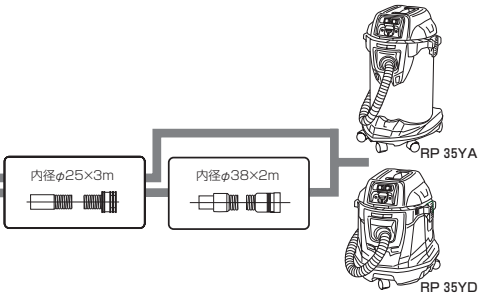
この機体を弱運転する場合…電動工具の消費電力 100 ~ 665 Wまで

適用機種

別売部品
集じんアダプタ

電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント ホース

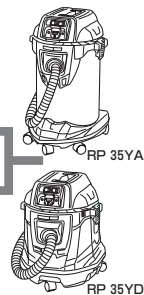
集じん丸のご C 4YB C 5YA C 5YC C 6Y1 C 8Y C 4YC C 5YB2	集じんアダプタ不要
コードレス集じん丸のご C 14DYSL C 14DYSL2	集じんアダプタ不要
集じん丸のご C 4YA2	 セット品〔 〕含む (ホース/バンドアダプタ)  (L字形) 
リフォーム用丸のご、丸のご C 5MR	集じんアダプタセット 
深切り丸のご、丸のご C 5MBY C 5UBY C 6UBY C 5UVY C 5MVY C 5UVY C 6UVY <hr/> C 5MBYA C 5MVYA C 6MBYA C 6MVYA C 6MB4 C 6UB4 C 7MB4 C 7UB4 <hr/> C 6SS C 7SS	
コードレス丸のご C 14DSL C 14DSL2 C 18DSL2 <hr/> C 18DMR C 18DL C 18DSL	 
ジグソー CJ 90VST CJ 120V CJ 110M CJ 110MV CJ 14DSL CJ 18DSL	
ジグソー CJ 65SF CJ 65VF	集じんアダプタ不要
サンダ SV 12SD	
ミニサンダ・ベルトサンダ SV 12SG SV 12SH SV 13YB SV 10V2 SB 8V2	集じんアダプタ不要
コードレスチップソーカッタ CD 14DSL CD 14DSL2	集じんアダプタ不要
コードレスチップソー切断機 CD 14DFL	集じんアダプタ不要



適用機種

別売部品 集じんアダプタ

電動工具用集じん機標準付属品 接続アダプタ・ジョイント ホース



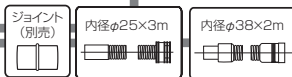
卓上丸のこ、ベンチ丸のこ、 テーブル丸のこ

C 6RSH	C 6RSHC
C 7RSHC	C 7RSC
C 8FSE	C 8FSH
C 8FC	C 10FSH
C 12LDH	C 12RSH
C 15FB	C 10FD3



(ホースバンド付)

C 15FC	C 10FE
--------	--------



カッタ

CM 4YA
CM 5YA



ディスクサンダ

S 10SA3



100mm・125mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時)

PDA-100H	PDH-100H
G 10SB1	G 10YH2
G 10VH	G 10SH4
G 10SL4	G 10SP4
G 10ST	G 10SM3
G 10MH	G 10ML
G 10B2	G 10SS
G 14DSL	G 18DSL



(カップタイヤ用)

G 13SP	G 13S4
G 13SH4	G 13SM3
G 13SS	G 13VH
G 13YH2	



振動ドリル

DV 21V
VTP-25



ハンマドリル

PR-25B	PR-38E
	DH 35
DH 40SR	DH 40MRY



ドリルビット専用
(径径11~22mm
長さ280mmまで)

ロータリーハンマドリル

DH 25FPB

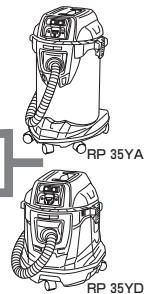
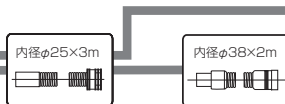


ドリルビット専用
(径径5~18mm
長さ209mmまで)

カッタ

CM 6	CM 11
CM 12Y	

集じんアダプタ不要





適用機種

別売部品
集じんアダプタ

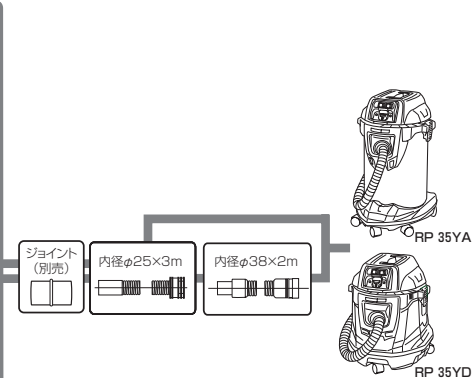
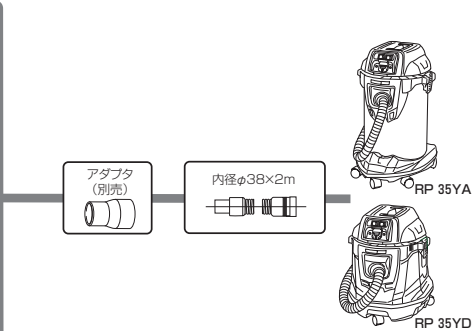
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント ホース

ルータ M 8V2 M 12VE M 12SE M 12BA	
ルータ M 12SA2 M 12V2	
かなば P 20	
小穴カッター PG 21BA (φ31ホース使用不可)	

125・150・180mm ディスクグラインダ (ダイヤモンドカッター使用時) G 13SP G 13S4 G 13SH4 G 13SM3 G 13SS G 13VH G 13YH2 G 15SP G 15YE G 18SH G 18YB PDH-180C G 18SP	ホイールガード + ベースセット  ホイールガードベースセットと 合わせてご使用下さい。
---	---

ロータリハンマドリル 振動ドリル DH 18PB DH 18PH DH 18MB DH 24DV DH 24DVA DH 25DAL DH 36DAL DH 22PB DH 24PB3 DH 24PC3 DH 24PF3 DH 24PM DH 14DSL DH 18DSL DV 18VA DV 20VE DV 20VB2 DV 12V DV 16V	
---	--

ロータリハンマドリル DH 24PD3	アダプタ(A) 
-------------------------------	--



用 途

RP 35YB	RP 35YA、RP 35YD
<ul style="list-style-type: none">○ 作業場、その他の一般清掃。○ 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん。○ 床にこぼした水などの液体吸引。	<ul style="list-style-type: none">○ 作業場、その他の一般掃除。○ 電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する乾いた細かい粉じんの集じん。

注 ・ RP 35YA、RP 35YDでは、水は吸引できません。

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. タンク内の付属品を取り出す
作業前にタンク内の付属品を取り出してください。
2. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認

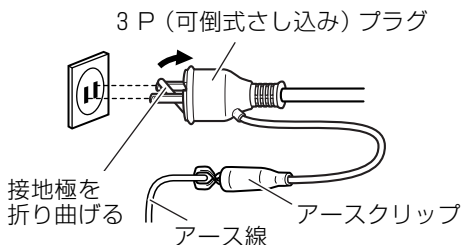
警 告

・アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けないでください。

ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また、この機体は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA 以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースは、接地極のある電源コンセントに 3 P プラグ（接地極付プラグ）をさし込んで行います。接地極のない電源コンセントに接続するときは、次ページの図のように接地極を折り曲げて電源コンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続して行います。



アースクリップ、アース線は、異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと機体金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。

3. 延長コード

⚠ 警 告

• 延長コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの延長コードをできるだけ短くして使用します。

次の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
3.5 mm ²	15 m
5.5 mm ²	25 m

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

4. 作業環境の整備・確認

作業する場所が2ページの「集じん機の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。また、直流電源、エンジン発電機および昇圧器などのトランス類で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. 電源スイッチが切れていることを確かめる

電源スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

電源スイッチ（6 ページの図参照）は、「強」側または「弱」側を押すと入り、「切」に戻すと切れます。電源スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。

3. フィルタの確認

フィルタは18 ページ「3. フィルタを取付ける」の項を参照のうえ、正しく取付けてください。

4. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

使 方

⚠ 注 意

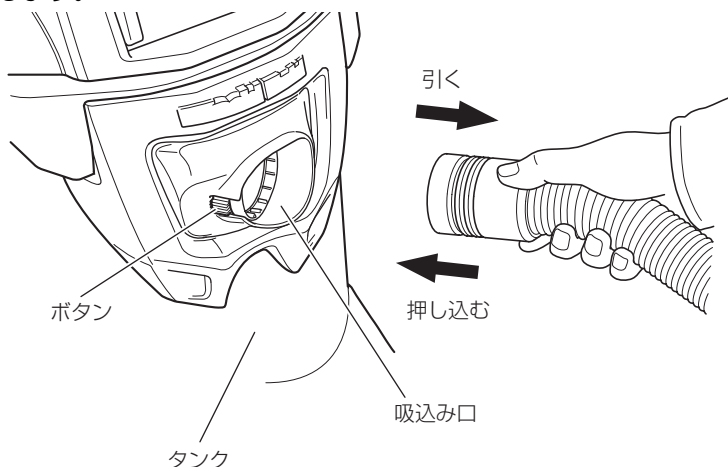
- ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。

- 注** • ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。ホースの変形などの原因になります。

1. ホースを接続する

付属品のホースをタンクの吸込み口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。

ホースを取りはずす場合は、吸込み口のボタンを押しながらホースを引いてはずします。



2. ポリ袋を取付ける（ポリ袋なしでも使用できます。）

- 注** • ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。ポリ袋が破れる原因になります。
- 吸込み口部のポリ袋の端部は、タンクの口元から出さないでください（次ページの上図参照）。タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、ポリ袋がしばみ集じんできません。

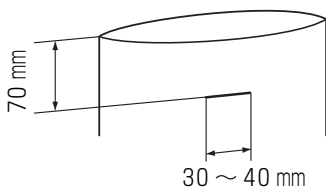
(1) 付属のポリ袋を使用する場合



- (a) クランプ（2 個）をはずして、取手（6 ページの図参照）を持って引き上げヘッドを取りはずします。
- (b) フィルタ、フィルタケースを取はずします。〔RP 35 YB の場合〕
- (c) タンク内側の吸込み口にポリ袋の穴をさし込みます。次に両端を折り曲げたポリホルダを吸込み口にさし込み抜け止めをします。このとき吸込み口の抜け止め突起の奥側まで押し込みます。
- (d) ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。
- (e) 「3. フィルタを取付ける」の項に従い、フィルタパッキン部がポリ袋をしっかりはさみ込むようフィルタを取付けます。

(2) 市販品のポリ袋を使用する場合

注 ・市販品のポリ袋は、45 L（800 mm×650 mm）が使用可能です。ただし厚さ 0.04 mm 以上のものご使用ください。



- (a) ポリ袋の端部から約 70 mm のところに 30 ~ 40 mm の切りを入れます。
- (b) ポリ袋取付け、他は付属のポリ袋を使用する場合と同じです。

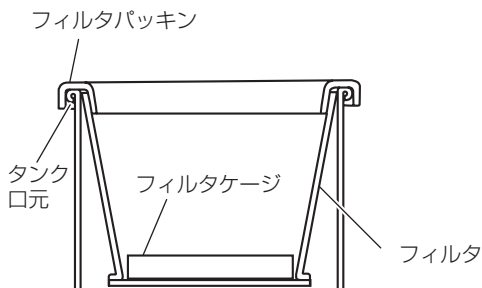
3. フィルタを取付ける



警告

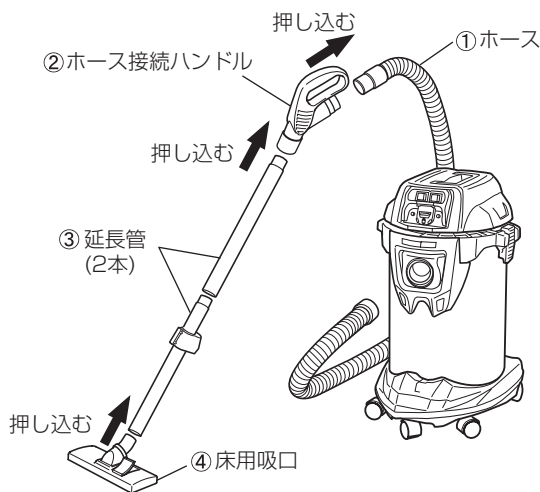
- ・フィルタ（布フィルタまたは粉じん用フィルタ）は、必ず取付けてください。
モーターが故障する原因になります。
- ・サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする場合は、別売部品の紙フィルタを使用してください〔RP 35 YB の場合〕。詳細は、紙フィルタの取付け方の項を参照してください。
- ・乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取りはずさないでください〔RP 35 YB の場合〕。

- 注**
- 粉じん用フィルタは、水の吸水ができません〔RP 35YA、RP 35Y Dの場合〕。
 - ナイロンフィルタ（別売部品）使用時にも、ナイロンフィルタの底部にフィルタケースが入っていることを確認してください。〔RP 35Y Bの場合〕



- (1) フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。
- (2) フィルタの底部にフィルタケースが入っていることを確認してください。（RP 35YBの場合）

4. 床用吸口、延長管他を取付ける …掃除機として使用する場合



①ホース（内径φ 38 ×長さ 2 m）、②ホース接続ハンドル、③延長管、④床用吸口の順に接続します。

接続は、矢印方向に押し込みます。

用途によりすき間用吸口を取付けることもできます。

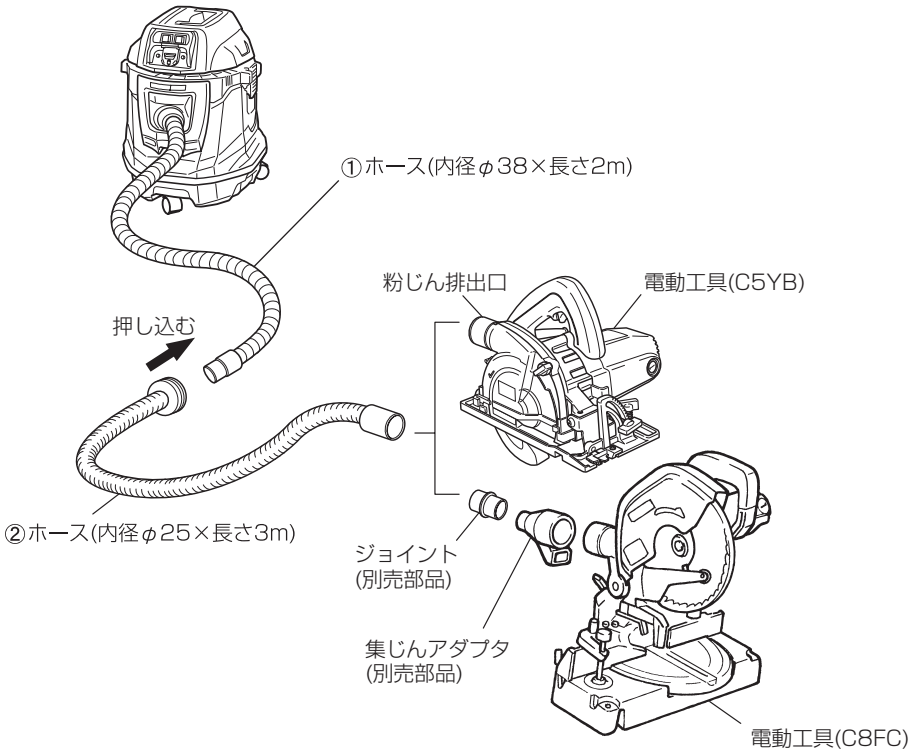
5. 電動工具を接続する

注 • 電動工具と接続して使用する場合は、10～14ページの「2. 集じんアダプタ・ジョイント」の項を参照し、別売り部品を選択してください。

①ホース(内径φ38×長さ2m)、②ホース(内径φ25×長さ3m)の順に接続します。

接続は、矢印方向に押し込みます。

次に10～13ページの「2. 集じんアダプタ・ジョイント」の項を参照して接続します。



(マキタ) 電動工具と接続する場合

マキタ製電動工具と本機を接続する「D25 アダプタ(2種類)」を標準付属していますので、接続方法と適用機種について、下表を確認のうえご使用ください。

適用機種	別売部品		電動工具用集じん機標準付属品		接続方法
	集じんアダプタ		接続アダプタ・ジョイント	ホース	
マキタ製電動工具 防じん丸のこ KS4000FX KS5000FX KS4100F KS5100F KS521DRF KS520DRJ 5034FKB 5044KB 5055FKB 5045KB 5047KB 充電式防じん丸のこ 5036D 5026D 防じんカッタ 4123KB 電子コンクリートカンナ PC5001C 集じんカバー付きディスクサンダ ホールサンダ 9740 9741 スライド丸のこ LS0712 LS0612FL LS0611FL LS0716FL LS0814FL LS0715FL LS1014 LS1213 卓上丸のこ LS1040F LS0840F LS0840FL LS1510 丸のこ盤 スライド丸のこ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー 2114C	集じんアダプタ不用		D25アダプタ (38mm用) 内径φ25×3m 内径φ38×2m D38アダプタ (38mm用) 内径φ38×2m		RP 35YA RP 35YD
マキタ製電動工具 防じん丸のこ 5205FX KS5200FX 内装丸のこ 5240L 5241 内装直角丸のこ 5210L 丸のこ 5230 際切り丸のこ 5840BA 充電式丸のこ SS5400 充電式防じん丸のこ KS520D KS521D ジグソー 4327 4329 ジョイントカッタ 3901 コンクリートカンナ PC9003 ベルトサンダ 9031 9911 9403 9404 9903 仕上げサンダ BO3710 BO4900V 防じんミニサンダ BO4555 BO4565 ランダムオービットサンダ BO5030 BO5041 BO5021 オービタルサンダ 9046 防じんボードトリマ 3706BSK ルータ RP0910	集じんアダプタ不用		D25アダプタ (26mm用) 内径φ25×3m 内径φ38×2m D38アダプタ (26mm用) (別売) 内径φ38×2m		RP 35YA RP 35YD
他社電動工具 接続口径φ20、φ26製品 (マキタ製) ハンマドリル他		アダプタ(A)			
マキタ製電動工具(接続口径φ36、φ45製品) 防じん丸のこ KS4000FX KS5000FX KS4100F KS5100F KS521DRF KS520DRJ 5034FKB 5044KB 5055FKB 5045KB 5047KB 充電式防じん丸のこ 5036D 5026D 防じんカッタ 4123KB 電子コンクリートカンナ PC5001C 集じんカバー付きディスクサンダ ホールサンダ 9740 9741 スライド丸のこ LS0712 LS0612FL LS0611FL LS0716FL LS0814FL LS0715FL LS1014 LS1213 卓上丸のこ LS1040F LS0840F LS0840FL LS1510 丸のこ盤 スライド丸のこ盤 LT610 パネルソー LT600 電子バンドソー 2114C	アダプタ(B)		ジョイント (別売) 内径φ25×3m 内径φ38×2m アダプタ (別売) 内径φ38×2m		RP 35YA RP 35YD

6. 連動用コンセントの使い方

警 告

- 連動用コンセントには、この機体の電源スイッチ、モード切り替えスイッチの位置にかかわらず、電圧がかかります。
電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込む場合、電動工具のスイッチが切れていることを確認してください。
電動工具のスイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを連動用コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。
- 下記の消費電力を超える電動工具は、連動用コンセントに接続しないでください。定格以上の電流が流れ、連動回路やさし込みプラグなどの故障やけがの原因になります。下記の消費電力を超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。
この機体を強運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 285 Wまで
この機体を弱運転する場合…電動工具の消費電力 100 ～ 665 Wまで
- 電動工具が一重絶縁品の場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。(アースクリップ付 2 ピンプラグの場合)
アースクリップをアース端子に接続しないと感電の恐れがあります。
- さし込みプラグの抜け止めがかかっている状態で、コードを引っ張らないでください。さし込みプラグを左に回し、抜け止めをはずしてからさし込みプラグを抜きとってください。

注 • 連動用コンセントに巻線トランスが組み込まれている製品を接続すると機体が約5秒間連動しますが、故障ではありません。

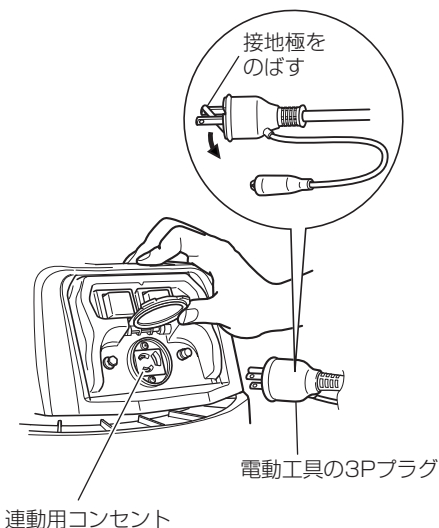
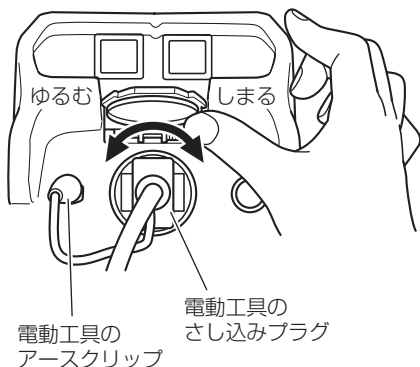
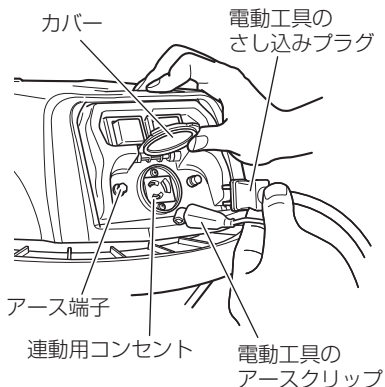
(1) 接続する電動工具の消費電力の確認

この機体は、強運転時 100 ～ 285 W、弱運転時 100 ～ 665 Wまでの消費電力の電動工具が接続できます。

接続する電動工具の消費電力を確認します。

上記を超えている電動工具の場合は、機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。

この場合、電動工具のスイッチの操作でこの機体の運転・停止はできません。



(2) 電動工具のさし込みプラグの接続

カバーを持ち上げて、電動工具のさし込みプラグを連動用コンセントにさし込み、右に回します。

回らなくなったところで、さし込みプラグの抜け止めがかかります。

さし込みプラグを抜く場合は、左に回してから引き抜きます。

(3) アースクリップの接続

電動工具が一重絶縁品のアースクリップ付2ピンプラグの場合は、電動工具のアースクリップを必ずアース端子に接続してください。

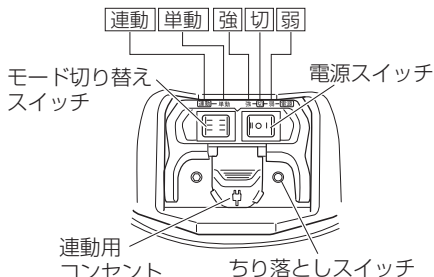
3 P (可倒式さし込み) プラグの場合は、接地極端子を伸ばしてから連動用コンセントにさし込み、右に回します。

7. モード切り替えスイッチ、電源スイッチ、ちり落としスイッチの操作

(1) モード切り替えスイッチ

「連動」側を押すと接続した電動工具のスイッチの操作で、この機体の運転・停止が可能になります。

「単動」側を押すとこの機体の電源スイッチの操作で運転・停止します。



(2) 電源スイッチ

「強」側を押すと機体が強運転、「弱」側を押すと弱運転します。

「切」に戻すと機体が停止します。

モード切り替えスイッチが「単動」の場合、電源スイッチの操作で運転・停止します。

(3) ちり落としスイッチ…RP 35YA、RP 35YDの場合

注 ちり落とし装置が動作中、電源スイッチの「強」または、「弱」で運転、あるいは電動工具との連動運転を開始すると、ちり落とし装置の動作が停止します。

ちり落とし装置は下記の場合、動作しないようになっています。

- 電源スイッチが「強」または、「弱」で運転している場合。
- 電源スイッチを「切」にしてモーターが停止するまでの間。
- 電源スイッチを「切」にしてから、15分以上経過した場合。
(一度電源スイッチを「強」または「弱」にして運転し、停止させれば、ちり落とし装置が動作できるようになります。)
- さし込みプラグを差し込んだとき。
(一度電源スイッチを「強」または、「弱」にして運転し、停止させれば、ちり落とし装置が動作できるようになります。)

ちり落としスイッチを押さなくても、本機は常時吸込み力を監視しているため、吸込み力がある程度低下した場合に自動的にちり落とし装置が動作し、吸込み力が回復します。

電源スイッチが「切」の場合、ちり落としスイッチを押すと、ちり落とし装置が数秒間動作し、フィルタのちり落としができます。

(4) 各スイッチの操作の手順

(a) 電動工具とこの機体を連動させて使用する場合

- ① モード切り替えスイッチの「連動」側を押します。
- ② 電源スイッチの「強」または「弱」側を押します。
- ③ 接続した電動工具のスイッチの操作で、この機体も連動して運転・停止します。なお、ホース内の粉じんを吸込むため、電動工具のスイッチを切った後も、機体は数秒間運転し、停止します。

(b) 掃除機として使用する場合

- ① モード切り替えスイッチの「単動」側を押します。
- ② 電源スイッチの「強」または「弱」側を押すと、機体が運転します。停止させるときは、「切」側に戻します。

8. ホースバンドを取付ける…RP 35YDの場合



フック (金具) を引掛ける 集じん機のホース

電動工具と接続して使用する場合は、ホースとコード (電動工具用) がからまないよう付属のホースバンドで固定してください。

約 1 m の間隔で結束してください。

9. フィルタのちり落とし

⚠ 警告

- 必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- 粉じんが満杯になっていると吸込み力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。

RP 35YBの場合

使用中に吸込み力が低下した場合、下記手順でちり落としをしてください。

- (1) クランプをはずして、ヘッド (6 ページの図参照) を取りはずします。手順は「10. 粉じんを捨てる」項を参照してください。
- (2) フィルタがタンクに組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたくて付着した粉じんを落とします。吸込み力が回復します。
- (3) ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。取付け方法は、「10. 粉じんを捨てる」項を参照してください。

RP 35YA、RP 35YDの場合

注 • ちり落とし装置は、吸込み力がある程度低下した場合に動作するようになっておりますので、下記のような場合も動作します。

- ・ ホース先端の吸口を閉じた場合
- ・ ホース内に異物が詰まった場合

この機体には、吸込み力がある程度低下した場合に自動的にフィルタのちり落としを行う装置がついています。

(1) 使用中に吸込み力がある程度低下した場合に下記内容で自動的にちり落とし装置が動作し、吸込み力が回復します。

(a) 電源スイッチの操作で使用する場合

電源スイッチを「切」にしてモーター停止後、ちり落とし装置が数秒間動作します。

(b) 電動工具と接続して使用する場合

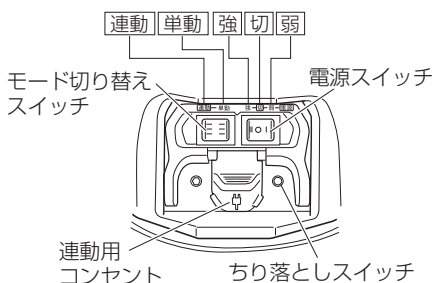
電動工具のスイッチを「切」にして数秒間フル運転します。そのあとモーターが停止後、ちり落とし装置が数秒間動作します。

接続する電動工具とホース先端の取り付けアダプタの太さによっては、電動工具のスイッチを「切」にするたびちり落とし装置が動作する場合がありますが故障ではありません。

(2) その都度フィルタのちり落としをする場合は、ちり落としスイッチを押します。押すたび数秒間ちり落とし装置が動作します。

ちり落としスイッチを押してもちり落とし装置が動作しない場合があります。詳細は24ページの「ちり落としスイッチ」項を参照してください。

(3) くり返しちり落とし装置を動作させても、吸込み力が回復しない場合、タンク内の粉じんが満杯に近い状態になっています。タンク内の粉じんを捨ててください。



10. 粉じんを捨てる



警告

- 必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- RP 35YA、RP 35YDの場合
ちり落とし装置動作後、必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注 意

- タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。
変形、破損の原因になります。
- 粉じんの吸込み量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日1回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。
吸込み力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- タンク内の粉じんを捨てる時は、クランプを持たないでください。
クランプが破損する原因になります。

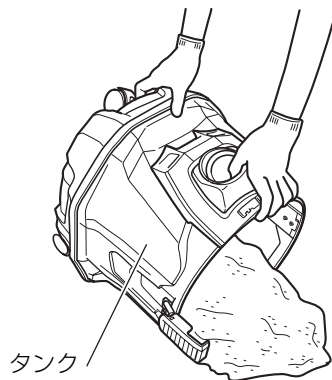
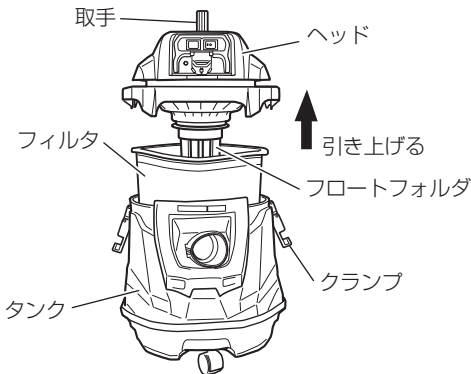
- 注**
- 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。
ポリ袋が破れる原因になります。
 - ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。
ポリ袋が破れる原因になります。
 - ベースやタンクに付属品（延長管、吸口等）をさし込んだままタンクを倒さないでください。
各部の破損の原因になります。

RP 35YBの場合

⚠ 警 告

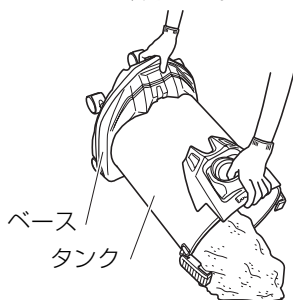
- タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。

- (1) クランプ（2個）（6ページの図参照）をはずして、ヘッドの取手を上方へ引き上げます。
- (2) フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。次にタンクからフィルタとフィルタケースをはずします。
- (3) タンクを倒し、粉じんを捨てます。
- (4) フィルタ、フィルタケース、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。



RP 35YA、RP 35YDの場合

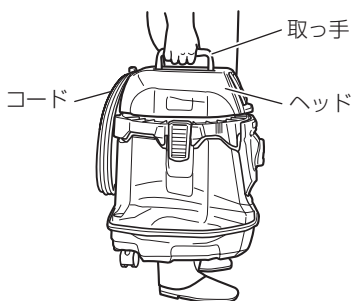
注 ・電源スイッチを「切」にして、ちり落としスイッチを押しフィルタのちり落としを行った後、1分ほど待ってからタンクの粉じんを捨ててください。



- (1) クランプ（2個）をはずして、ヘッドの取手（6ページの図参照）を上方へ引き上げます。
- (2) タンク内の粉じんを捨てます。（左図参照）
- (3) ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。

11. 運搬・保管

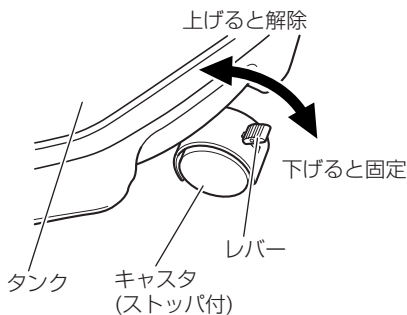
(1) 取っ手の使用方法



運搬・移動する場合は、左図のようにヘッド部の取っ手を持って行きます。

取っ手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

(2) キャスタの固定・解除

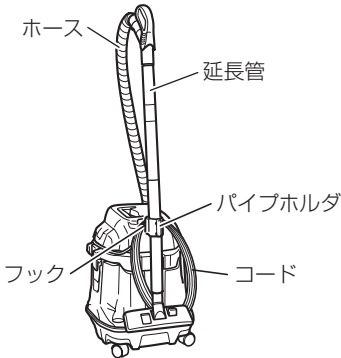


キャスタ（ストoppa付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。

機体を車に積んで移動する場合、キャスタを固定すると機体の動き止めができ便利です。

ただし、機体を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

(3) 機体を保管する場合



掃除の途中でちょっと中断したいときに、フックの延長管のパイプホルダを引掛けることができます。そのまま保管できます。コードも束ねて引掛けることができます。

12. 紙フィルタ (別売部品) の取付け方

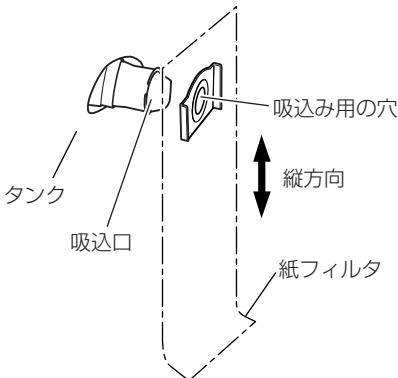
⚠ 警告

- 必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
 - 紙フィルタを使用するときは、標準付属の布フィルタと併用してください。(RP 35YA、RP 35YDの場合、標準付属の粉じん用フィルタと併用してください。)
- 万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

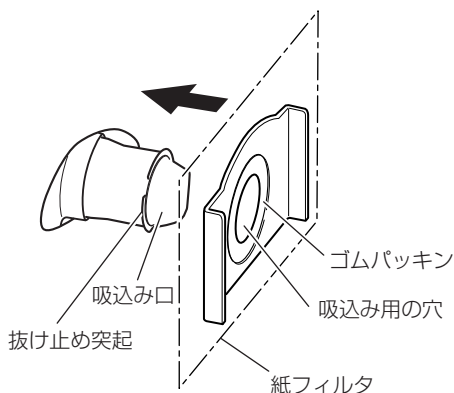
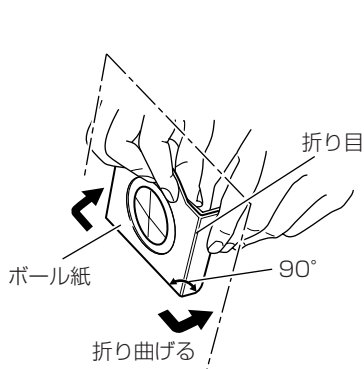
⚠ 注意

- 紙フィルタ使用時は、水などの液体、湿った粉じんを吸わせないでください。破ける原因になります。

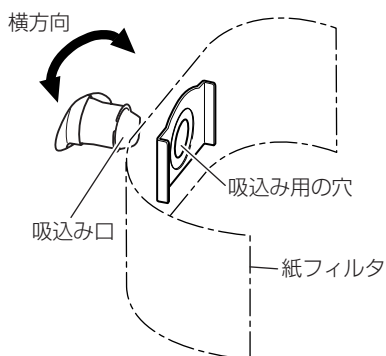
RP 35YAの場合



- (1) 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側になるよう紙フィルタを縦方向に広げます。(左図)
- (2) 機体に装着する前に、ボール紙についている2カ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。(次ページの上図)
- (3) 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込み口に合わせます。図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込み口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。



RP 35YB、RP 35YDの場合



- (1) 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側に位置するように、紙フィルタを横方向に広げます（前ページの下図参照）。
- (2) 機体に装着する前に、ボール紙についている2カ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます（上図）。
- (3) 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込み口に合わせます。図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込み口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください（左図）。

フロート機構について

… RP 35YBの場合



警 告

- **フロートが働いたままで、運転を続けしないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーターが故障する原因になります。
- **洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。**
フロートが働く前に空気の出口から泡がふき出します。
そのままお使いになると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。

フロートが動作して、水を吸込まないときは、速やかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。

保守・点検

警告

- 点検・手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
- ぬれた手で作業しないでください。
感電やけがの原因になります。

1. フィルタの手入れ

- 注**
- フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。
 - 布フィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたき程度にしてください。(RP 35YBの場合)
ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。
 - フィルタは、たたきつけたりしないでください。(RP 35YA、RP 35YD場合)
樹脂部が割れる原因になります。

RP 35YBの場合

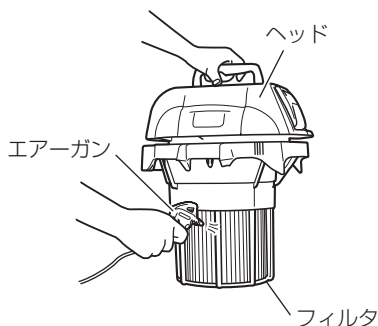
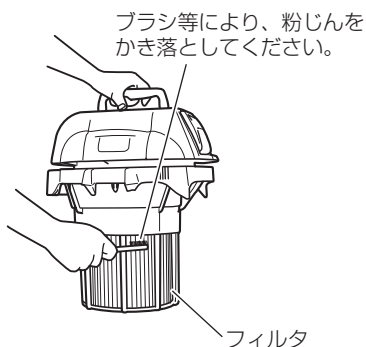
フィルタが目詰まりしますと、吸込み力が著しく低下しますので、フィルタの内側を軽くたたき、こまめにちり落とししてください。

RP 35YA、RP 35YDの場合

フィルタは、目詰りがひどくなると、ちり落とし装置だけではちり落としが不十分で、吸込み力が低下します。

定期的(1～2か月に1回以上)に、ブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をしてください。

フィルタは、下図のようにブラッシングや圧縮空気を吹きかけて、目詰りした粉じんを取り除いて吸込み力の回復をはかり、性能を保持するようにしてください。



フィルタをすかして見て、破れや穴の有無を点検してください。(下図)



2. 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

4. 表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

5. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | |
|--|---|---------------------|
| <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|--|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) TEL (03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒004-0053	札幌市厚別区厚別中央3条一丁目2番20号 TEL (011) 896-1740(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 TEL (022) 288-8676(代)
関東支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) TEL (03) 5783-0608(代)
中部支店	〒451-0051	名古屋市西区則武新町一丁目32番16号 TEL (052) 533-0231(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 TEL (076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号 TEL (0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号 TEL (082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号 TEL (087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 TEL (092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

